

佐賀県感染症発生動向調査速報

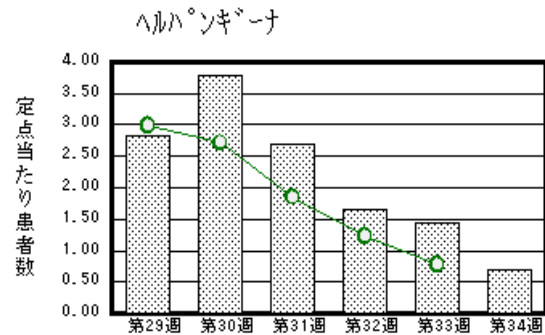
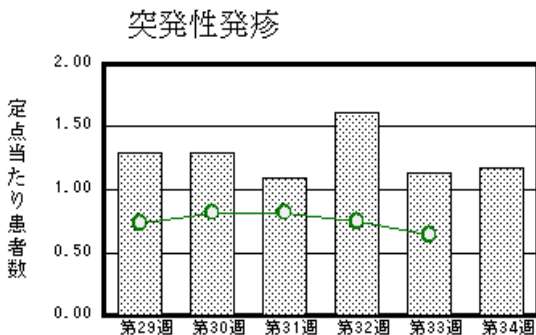
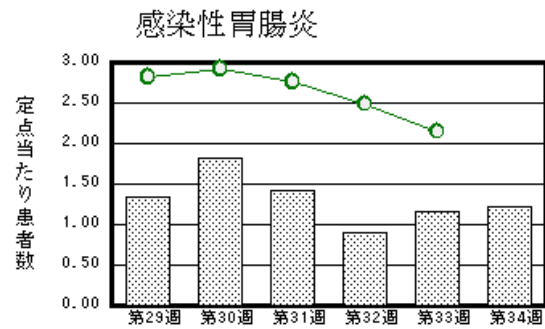
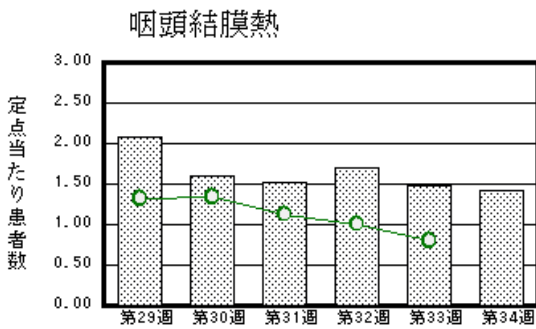
平成18年第34週 平成18年8月21日(月)～平成18年8月27日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】** 咽頭結膜熱 (33名) 感染性胃腸炎 (28名) 突発性発疹 (27名)
 ヘルパンギーナ (16名) 流行性耳下腺炎 (11名)
- 【咽頭結膜熱】**患者報告数は減少しました (34名 33名)が、過去5年間の同時期と比較して患者報告数が多くなっています。ついで、手洗いや水泳後のシャワー励行等、感染予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/intouketumaku0605/tem.html>
- 【腸管出血性大腸菌感染症】**佐賀中部保健福祉事務所管内で1名、唐津保健福祉事務所管内で1名、O157の届出がありました。鳥栖保健福祉事務所管内では第32週届出関連のO26の届出が2名ありました。手洗いや食材の加熱等を心がけ予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/o157/o157.html>



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2006年第32週号 (8月7日～8月13日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第32週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第32週の報告数は140例で、第32週までの累積報告数は1,867例である
・ 病原体情報	エコーウイルス18型2006年 / インフルエンザウイルス2005/06シーズン / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2006年
・ 速報	エコーウイルス18型の流行 - 宮崎県 / 新生児室におけるエコーウイルス18型の感染事例 - 愛知県 / 中国渡航後に肺炎を発症した患者からのインフルエンザウイルスA/H1N1型の検出 - 埼玉県
・ 海外感染症情報	中国での鳥インフルエンザ流行状況 / インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)		腸管出血性大腸菌感染症 (O26)* (三類感染症)
患者 (住所地)	1名(男児) (唐津保健福祉事務所管内)		1名(女児) (鳥栖保健福祉事務所管内)
無症状病原体保有者	1名	0名	1名
感染原因・感染経路	不明	不明	二次感染(疑い)
平成18年届出累計	10件43名(今週2件4名)		
平成17年	同 期	19件43名	
	届出累計	31件59名	

*8月14日記者公表関連(第32週届出以降、患者2名、無症状病原体保有者28名、計30名)

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告:五類感染症(週報分)

平成18年第34週 平成18年8月21日(月)~平成18年8月27日(日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀県					計	前週	全国 (第33週)
		佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤			
小児科 (23)	インフルエンザ (39) (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								48 0.01
	RSウイルス感 染症								70 0.02
	咽頭結膜熱	4 0.50	10 3.33	3 0.75	10 3.33	6 1.20	33 1.43	34 1.48	2319 0.80
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎		2 0.67			2 0.40	4 0.17	8 0.35	1385 0.48
	感染性胃腸炎	11 1.38	6 2.00	2 0.50	1 0.33	8 1.60	28 1.22	27 1.17	6251 2.15
	水痘	6 0.75	1 0.33	1 0.25		1 0.20	9 0.39	11 0.48	2012 0.69
	手足口病	4 0.50				2 0.40	6 0.26	3 0.13	2729 0.94
	伝染性紅斑	3 0.38				2 0.40	5 0.22	9 0.39	739 0.25
	突発性発しん	7 0.88	3 1.00	6 1.50	5 1.67	6 1.20	27 1.17	26 1.13	1859 0.64
	百日咳								26 0.01
	風しん								8 0.00
	ヘルパンギーナ	3 0.38	7 2.33	1 0.25	3 1.00	2 0.40	16 0.70	33 1.43	2234 0.77
	麻しん(成人 麻しんを除く)								31 0.01
	流行性耳下腺炎	4 0.50	1 0.33	5 1.25		1 0.20	11 0.48	21 0.91	3417 1.18
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								22 0.04
	流行性角結膜炎							3 0.75	723 1.17
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								6 0.01
	無菌性髄膜炎								36 0.08
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50	2 2.00				3 0.50	3 0.50	184 0.41
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								2 0.00
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たりの患者数

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成18年第34週 平成18年8月21日(月)~平成18年8月27日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイル ス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
0~5ヶ月		0~5ヶ月														0~5ヶ月								
6~11ヶ月		6~11ヶ月		3		5				19			3			6~11ヶ月								
1歳		1歳		5		7	4			7			7		2	1歳								
2歳		2歳		5		2	2	1		1			3		1	2歳								
3歳		3歳		7		2	2	3					1		2	3歳					1			
4歳		4歳		4	2		1	1	1				1		3	4歳					1			
5歳		5歳						1	2						1	5歳								
6歳		6歳		1	1	2										6歳								
7歳		7歳		1		1							1		1	7歳								
8歳		8歳		2		1										8歳					1			
9歳		9歳		1	1	4			1							9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳				4			1						1	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上		4												20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		33	4	28	9	6	5	27			16		11	合計					3			
前期計		前期計		34	8	27	11	3	9	26			33		21	前期計		3			3			
当期間/前	***	当期間/前	***	0.97	0.5	1.04	0.82	2	0.56	1.04	***	***	0.48	***	0.52	当期間/前	***		***	***	1	***	***	
増減数		増減数		-1	-4	1	-2	3	-4	1			-17		-10	増減数		-3						

***は前期計が"0"のとき

